

関係各位

愛知県農業総合試験場長  
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記  
令和3年度病害虫発生予報第2号(5月)  
令和3年度病害虫発生予察注意報第1号

担当 環境基盤研究部病害虫防除室  
電話 0561-62-0085  
内線 471  
ファックス 0561-63-7820

## 令和3年度病害虫発生予報第2号(5月)

令和3年4月30日  
愛知県

### 普通作物

#### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イネ	いもち病 (苗いもち)	やや多い	県全域	前年の穂いもち発生量はやや多い	+
	イネミズ ゾウムシ	平年並	県全域	前年6月下旬の本田発生量は平年並 前年の予察灯における誘殺数は平年並	±
ムギ	うどんこ病	多い	県全域	4月下旬の発生量は多い	+
	赤かび病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	±
	さび病類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±

#### ・防除対策

[イネ・いもち病(苗いもち)]

コシヒカリなど、イネいもち病感受性品種を栽培する場合は、Dr.オリゼフェルテラ粒剤、スクラム箱粒剤、ブーンゼクテラ箱粒剤などを用いて箱施薬を行いましょう。

[ムギ・うどんこ病]

本日発表の「令和3年度病害虫発生予察注意報第1号」を参考にしてください。

・留意事項

水温が上がり、水田においてスクミリンゴガイの活動が始まっているほ場があります。スクミリンゴガイの発生が確認されているほ場では、薬剤散布を行う等、防除を行いまししょう。詳細は、4月2日発表の「スクミリンゴガイ情報第1号（水稻）」を参考にしてください。

ムギ類赤かび病については、本日発表の「ムギ類赤かび病情報第2号」を参考にしてください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ウンシュウミカン	そうか病	多い	県全域	3月の越冬発病葉率は高い	+
	ミカンハダニ	やや多い	県全域	3月上旬の発生量は平年並 5月の気温は平年並か高い	± ±～+
ナシ	黒星病	平年並	県全域	4月上旬の花そう基部の発病率は平年並 4月下旬の発病葉率は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	± ± ±
	アブラムシ類	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の気温は平年並か高い 5月の降水量はほぼ平年並	± ±～+
モモ	黒星病	平年並	県全域	4月下旬の発病枝率は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	± ±
	せん孔細菌病	やや少ない	県全域	前年の発生量は平年並 4月下旬の発病枝率はやや少ない 5月の降水量はほぼ平年並	± - ±
	ナシヒメシクイ	やや多い (やや早い)	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 発生ピークはやや早い	+
	モモハモグリガ	平年並	県全域	4月下旬現在、被害を確認していない（平年並） フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
ブドウ	黒とう病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	± ±
	べと病	やや多い	県全域	前年の発生量はやや多い 5月の降水量はほぼ平年並	+
カキ	炭疽病	平年並	県全域	前年秋の発生量は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	± ±
	うどんこ病	平年並	県全域	前年秋の発生量は平年並	±
果樹共通	カメムシ類	平年並	県全域	チャバネアオカメムシの越冬世代成虫密度は平年並	±

・防除対策

〔ウンシュウミカン・そうか病〕

ナティーボフロアブルやベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

〔ウンシュウミカン・ミカンハダニ〕

トモノールSなどで防除しましょう。

〔ナシ・アブラムシ類〕

アルバリン／スタークル顆粒水溶剤やアドマイヤー水和剤などで防除しましょう。

〔モモ・ナシヒメシンクイ〕

越冬世代成虫の誘殺ピークが早く、誘殺数も多かったため、次世代以降の発生ピークも早く、誘殺数も多くなる可能性があります。フェロモントラップの調査データ（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>）を参考に、早めの防除を心がけましょう。

〔ブドウ・べと病〕

アリエッティC水和剤やジマンダイセン水和剤などで防除しましょう。

・留意事項

ナシの黒星病について、4月下旬の発病葉率は平年並ですが、一部地域では発病果が多く見られるほ場もあります。ほ場を確認して発生状況に注意するとともに、発病葉や発病果は見つけ次第除去しましょう。

有効積算温度を利用して各種害虫の防除適期を予測しました。

チャノキイロアザミウマは表の通りです。防除対策については4月23日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第1号」を参照してください。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（4月30日計算時点）

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/17	5/15	5/11	5/9	5/16	5/16	5/10	5/11	5/17	5/12	6/12
（前年）	5/23	5/20	5/18	5/18	5/21	5/22	5/18	5/19	5/22	5/19	6/9
前年差	6日早	5日早	7日早	9日早	5日早	6日早	8日早	8日早	5日早	7日早	3日遅
第2世代	6/14	6/15	6/9	6/5	6/15	6/14	6/9	6/8	6/15	6/12	7/11

その他の防除適期は、ナシマルカイガラムシは昨年よりやや早い5月22日から5月30日、フジコナカイガラムシは昨年よりやや早い5月26日から6月6日と予測しています。今後の気温経過で発生ピーク日が前後するため、5月中旬頃にこれら害虫について、最新の気象データを用いて計算し直し、防除適期に関する情報を提供する予定です。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の気温は平年並か高い 5月の降水量はほぼ平年並	± ±～+
タマネギ	べと病	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の降水量はほぼ平年並	- ±
トマト (施設)	黄化葉巻病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い	+

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ナス (施設)	灰色かび病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	ハダニ類	少ない	県全域	4月下旬の発生量は少ない	—
	アザミウマ類	少ない	県全域	4月下旬の発生量は少ない	—
キュウリ (施設)	べと病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	灰色かび病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	アザミウマ類	少ない	県全域	4月下旬の発生量は少ない	—

#### ・防除対策

[ナス・うどんこ病]

ダイアメリットDFやネクスターフロアブルなどで防除しましょう。

#### ・留意事項

ミナミキイロアザミウマが媒介するキュウリ黄化えそ病（病原：MYSV）、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病（病原：TYLCV）及びキュウリ退緑黄化病（CCYV）、タバココナジラミ及びオンシツコナジラミが媒介するトマト黄化病（病原：TOCV）が発生しているほ場では、次作への伝染を防ぐために、栽培終了後、植物残さをほ場外に持ち出す前に施設を密閉して、媒介虫を死滅させましょう。

### 花き

#### ・留意事項

キク（露地）では、親株床でアザミウマ類やアブラムシ類の発生に注意し、発生を認めたら防除を徹底しましょう。また、白さび病の発生があるほ場では、発病葉を早めに除去するとともに、系統の異なる農薬でローテーション散布をしましょう。今後はアザミウマ類やハダニ類が増加する時期になります。本ぼと親株床を含めた防除に努めましょう。

フェロモントラップでのオオタバコガの誘殺数が、例年と比較して1か月ほど早い4月中旬から増加しています。春先からオオタバコガの誘殺数が多い場合、その年の発生が多くなる傾向にありますので、発生時期に注意し、早期防除を心がけましょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.html>）、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>）を参照してください。

#### 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台4月29日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、平年並みまたは高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並みまたは低い確率ともに40%です。

2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：40% 高い：40%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：30% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%